

# 病棟薬剤業務の推移と効果

— 薬剤管理指導数と疑義照会数から —

薬剤科

山本 紀夫

# 今年度の薬剤科目標（抜粋）

## 病棟薬剤業務充実

33名体制でも効率化を図り、

- ①病棟薬剤業務実施加算1の維持
- ②薬剤管理指導件数 1200件/月 必達

### ①病棟薬剤業務実施加算1 (約3,500万円)

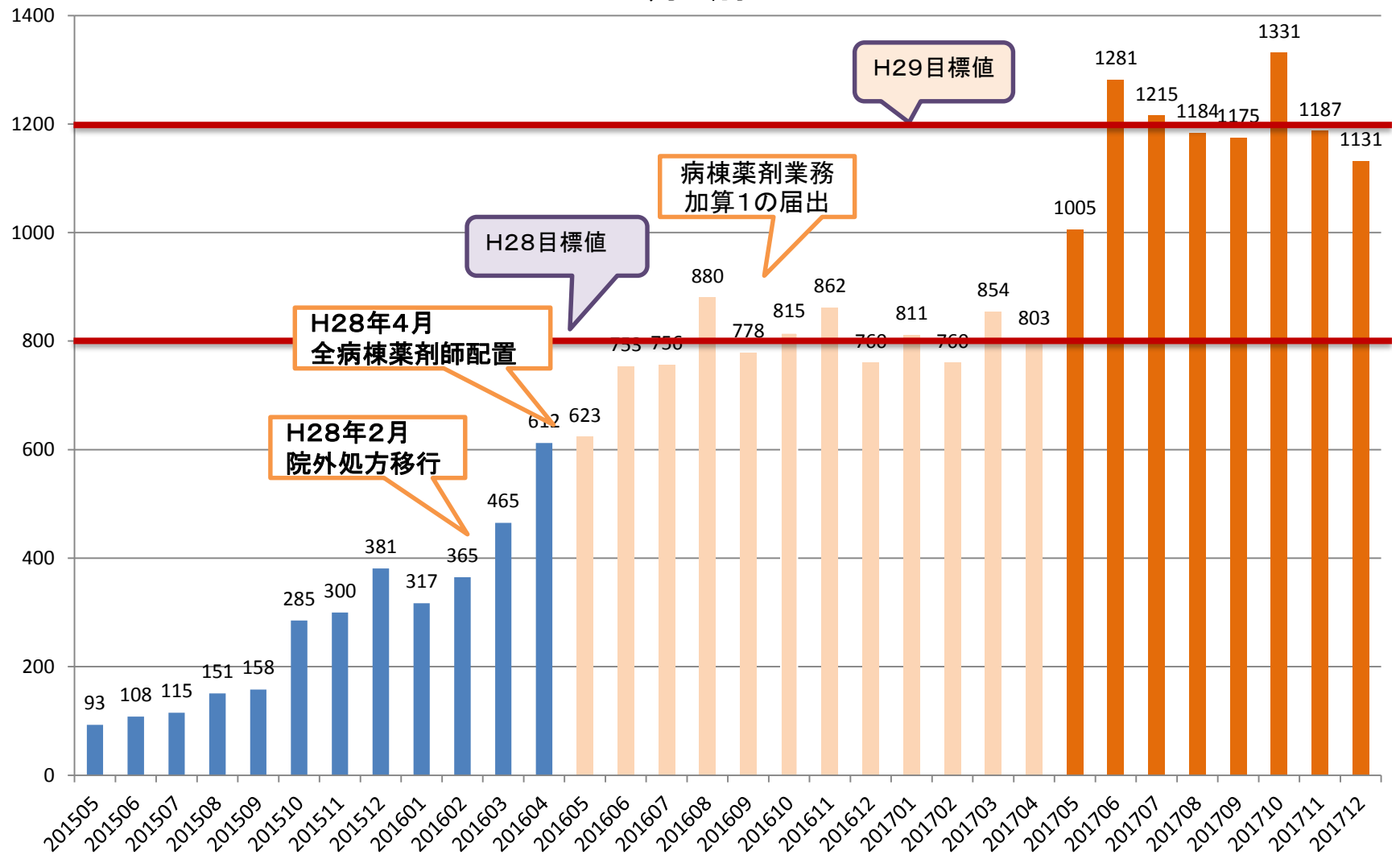
- ・薬歴確認
  - ・医薬品情報収集、周知
  - ・持参薬確認
  - ・カンファ、回診同行
- ↓
- 20時間/週

### ②薬剤管理指導 (約4,500万円)

- ・ハイリスク薬 380点
  - ・それ以外 325点
- ↓
- 1人につき週1回かつ月4回

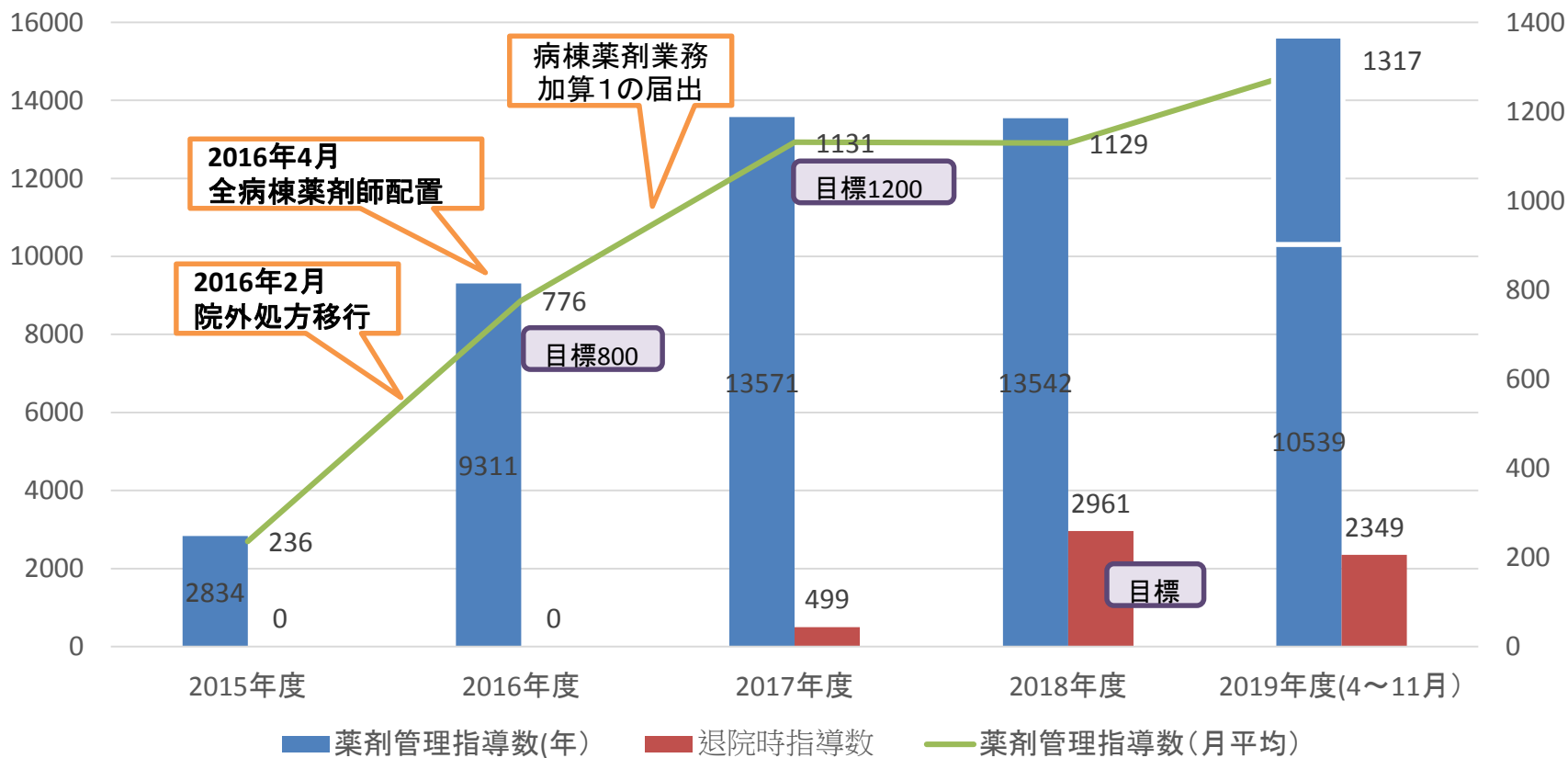
# 薬剤管理指導料算定件数の推移

月別



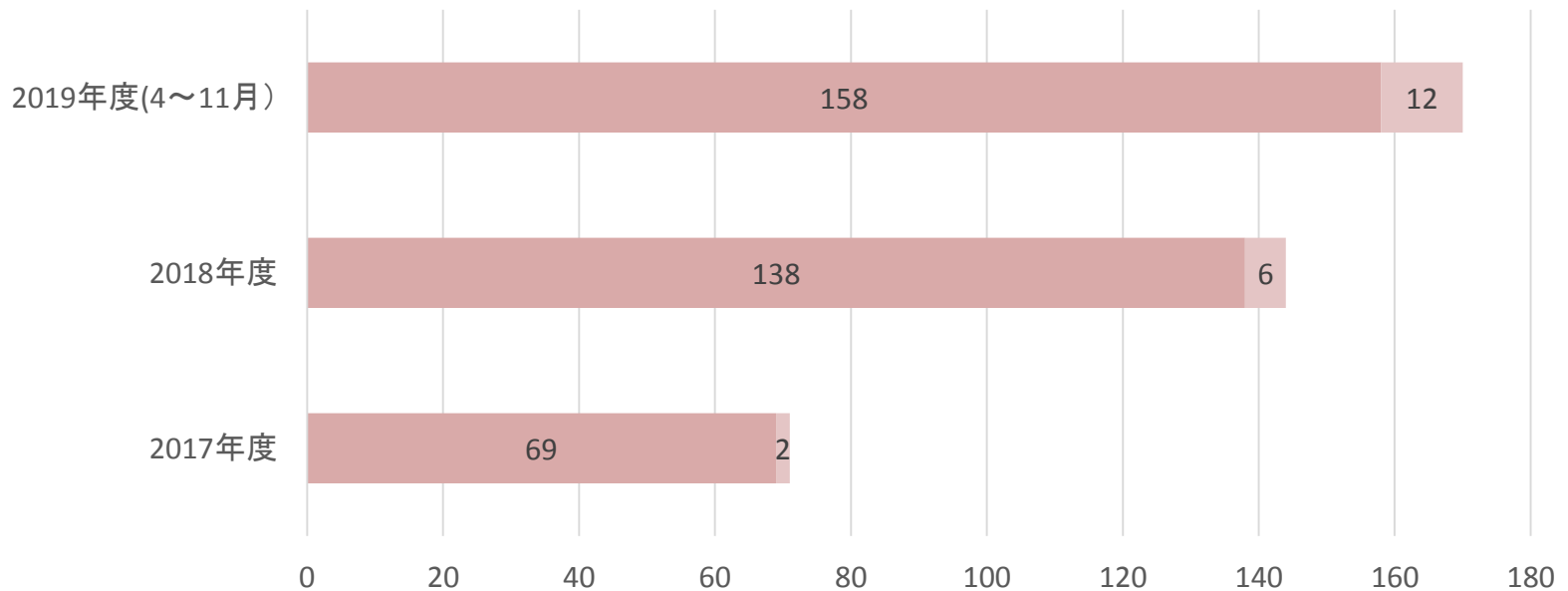
# 薬剤管理指導料算定件数の推移

年度別



# 疑義照会数（薬剤師→医師）

## 疑義照会

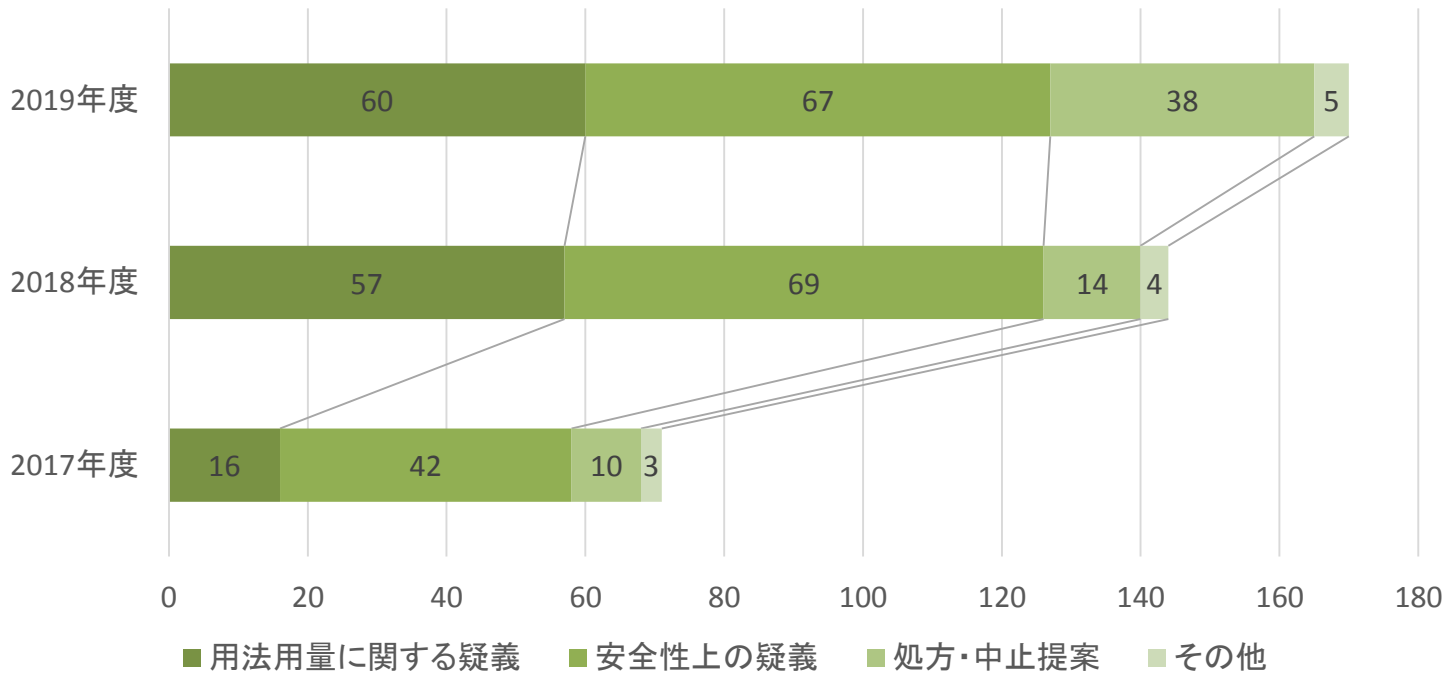


	2017年度	2018年度	2019年度(4~11月)
■ 処方変更	69	138	158
■ 処方未変更	2	6	12

■ 処方変更 ■ 処方未変更

# 疑義内容

## 疑義照会



# 疑義紹介（事例）

日付	疑義照会内容	返答内容
2019/04/01	「アメリーフが寝る前で処方。」 空腹時投与は吸収低下するので食後での処方を検討いただきたい。	寝る前→夕食後へ変更
2019/04/02	「ステララ導入予定の患者。体重41kg 初回用量260mg予定。」 添付文書では、投与前に結核感染の有無を確認する必要あり、 前回検査が5年前だった為、検査の必要性について疑義照会。	4/3の検査オーダーで、 結核菌特異的IFN- $\gamma$ (Tスポット-TB) の追加指示。
2019/04/03	「持参薬のL-アスパラギン酸Caは400mg/日で内服中。乳酸Ca2g分2で 再処方あり。」 当院採用の乳酸Caの場合、0.4gが同量となる。	主治医ご不在だったため、他のDr に確認、本日分は中止、明日主治 医に確認予定。
2019/04/04	「退院処方にランソプラゾール、継続指示の持参薬にタケキャブあり。」 ランソプラゾールの変更を提案。	ランソプラゾール中止となる。
2019/04/04	「イントラリポス注 20% 100mL 3時間かけて」 体重39kgであり、約5時間投与が適正速度。肝障害もあり、負荷を減 らした方がよい。疑義照会。	4/5～5時間かけて投与に変更指 示あり。
2019/04/05	「ワーファリン 3.5mg/日 INR: 4/1 1.22、4/3 1.77、4/5 3.32 と、急激な延長あり。 本日は内服中止指示。」 4/1までの長期間マルタミン投与あり。ビタミンK2の減弱作用が消失し たと推測。今後はワーファリンを減量する必要性がある為、疑義照会。	減量を検討します。回答あり。
2019/04/05	「ノベルジン錠 50mg 1錠分1朝食後 常食10割。」 亜鉛血中濃度測定なく、服薬の必要性について疑義照会。	4/6～内服中止指示。4/8採血で Zn値は正常範囲と確認された。 内服終了。

# まとめ

- ✓ 今年度は常時2名、最大3名の長期休暇による欠員があり病棟に薬剤師を配置できない日も多く出てしまったが、配置や夏期休暇取得等を工夫し週20時間をなんとか維持して病棟薬剤業務実施加算を1年間算定し続けることが出来た。
- ✓ 薬剤管理指導件数は目標であった1200件／月を優に超し、病棟薬剤業務実施加算と合わせて2018年度8000万円余の収入に加え、2019年度は+800万円が見込める。
- ✓ 病棟業務やスタッフに慣れてきたこともあり、医師への疑義照会数も増加し、医療安全にも十分貢献できていると考える。